

東北でのクマとの すみ分けに向けて

2026年6月24日

東北地方におけるクマ出没・被害
対策に関するオンラインセミナー

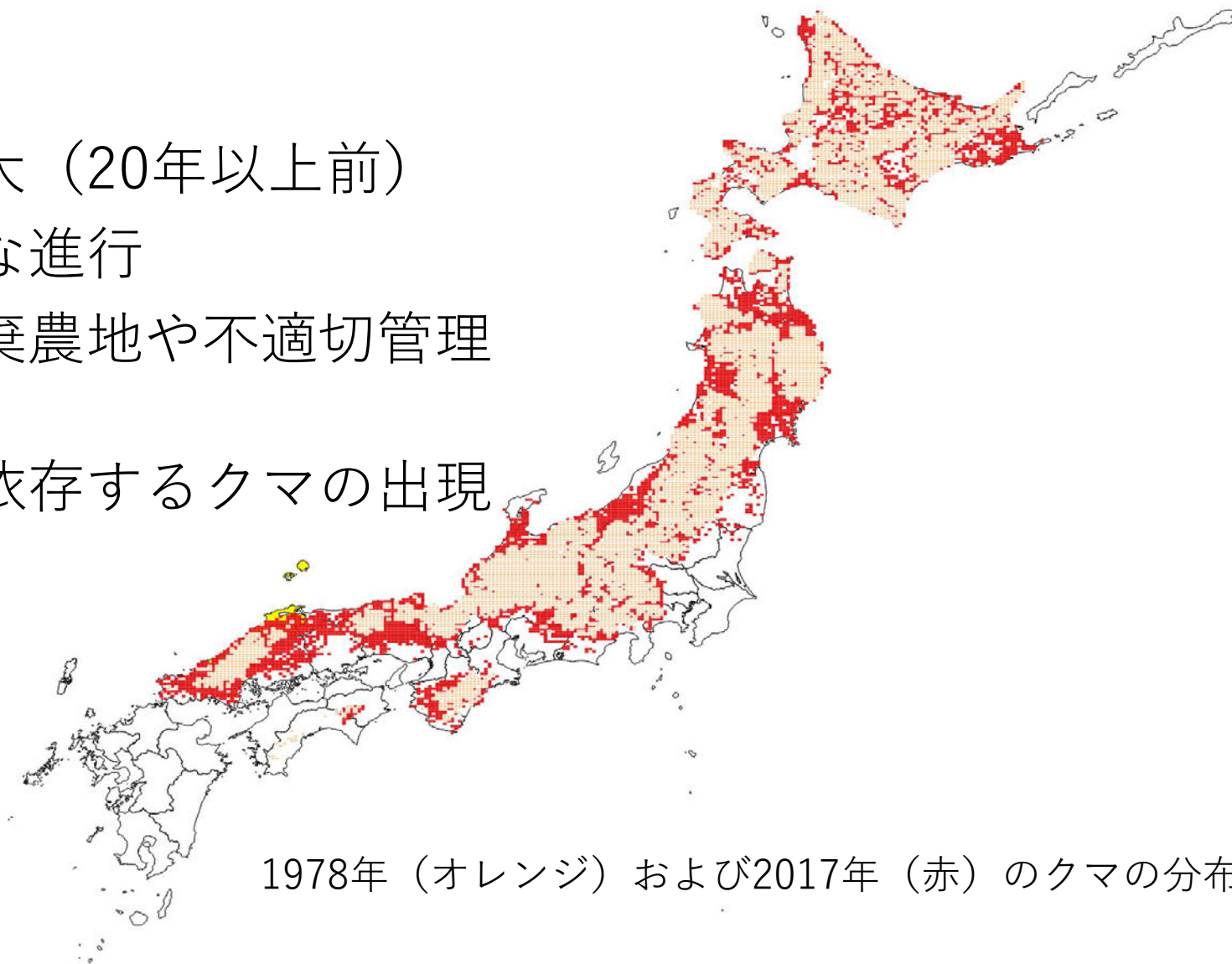
茨城県自然博物館／東京農業大学

山崎晃司



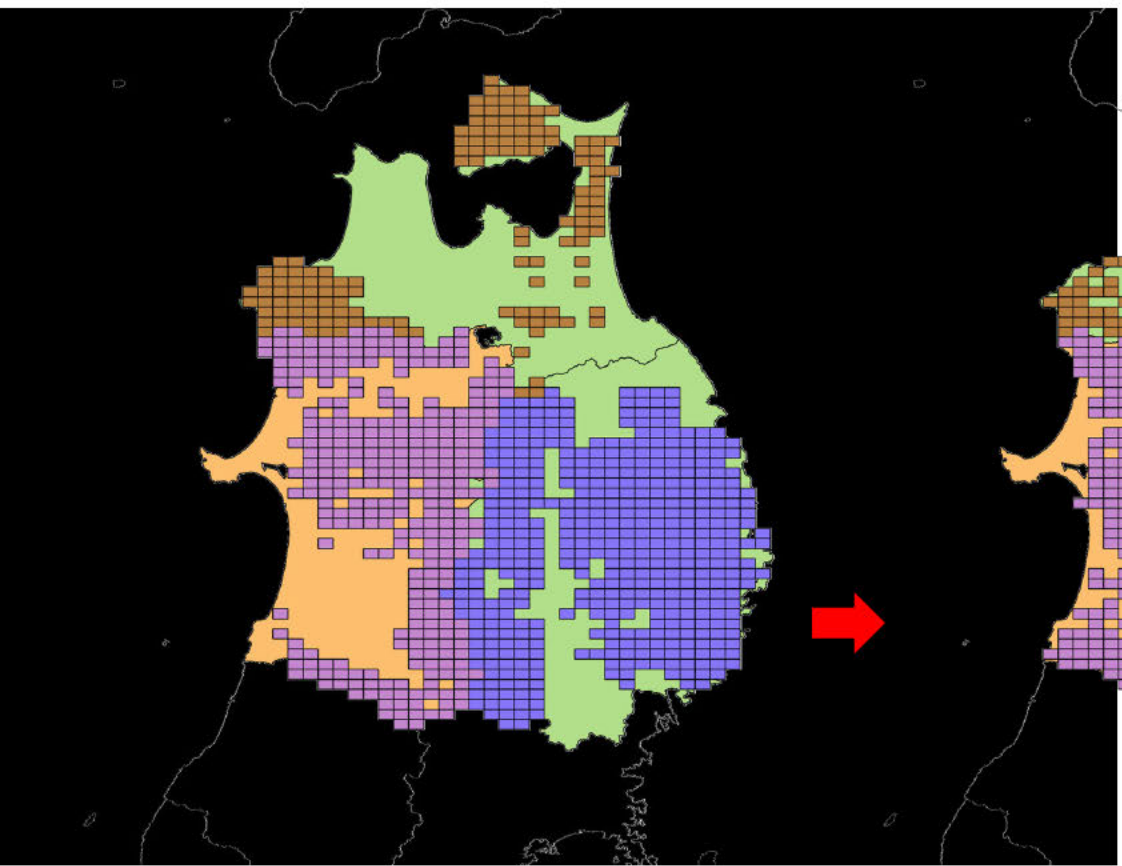
北東北でクマ出没が多い理由

- 分布域の早い時期での拡大（20年以上前）
- 人口減少と高齢化の急速な進行
- 農地の変化（例えば，放棄農地や不適切管理農地の拡大）
- 人慣れして，集落周辺に依存するクマの出現

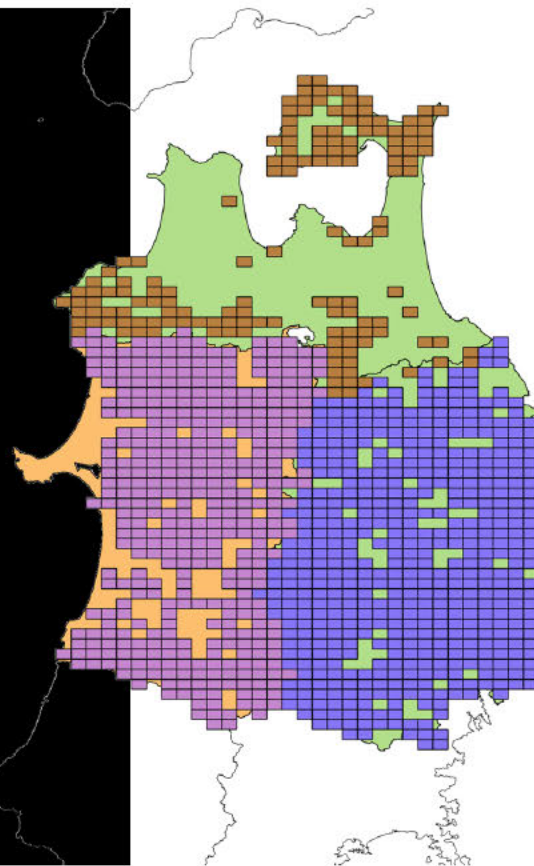


1978年（オレンジ）および2017年（赤）のクマの分布

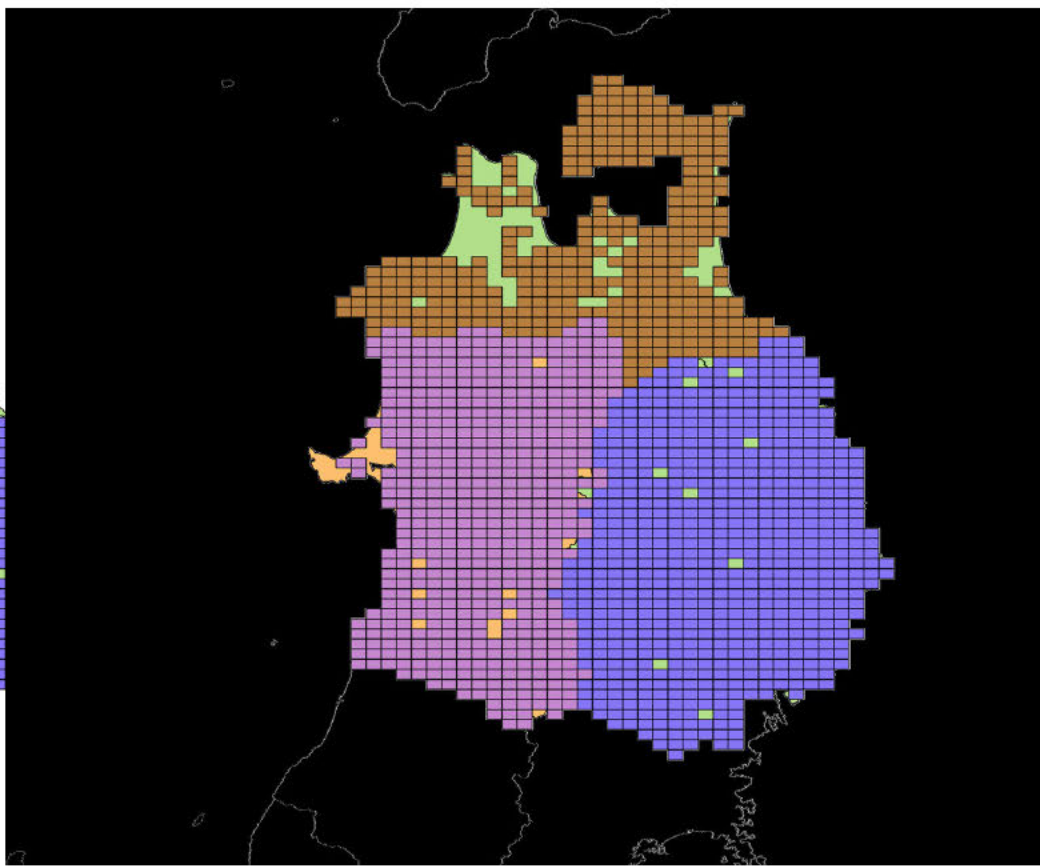
北東北3県でのクマの分布域の変化



1978年

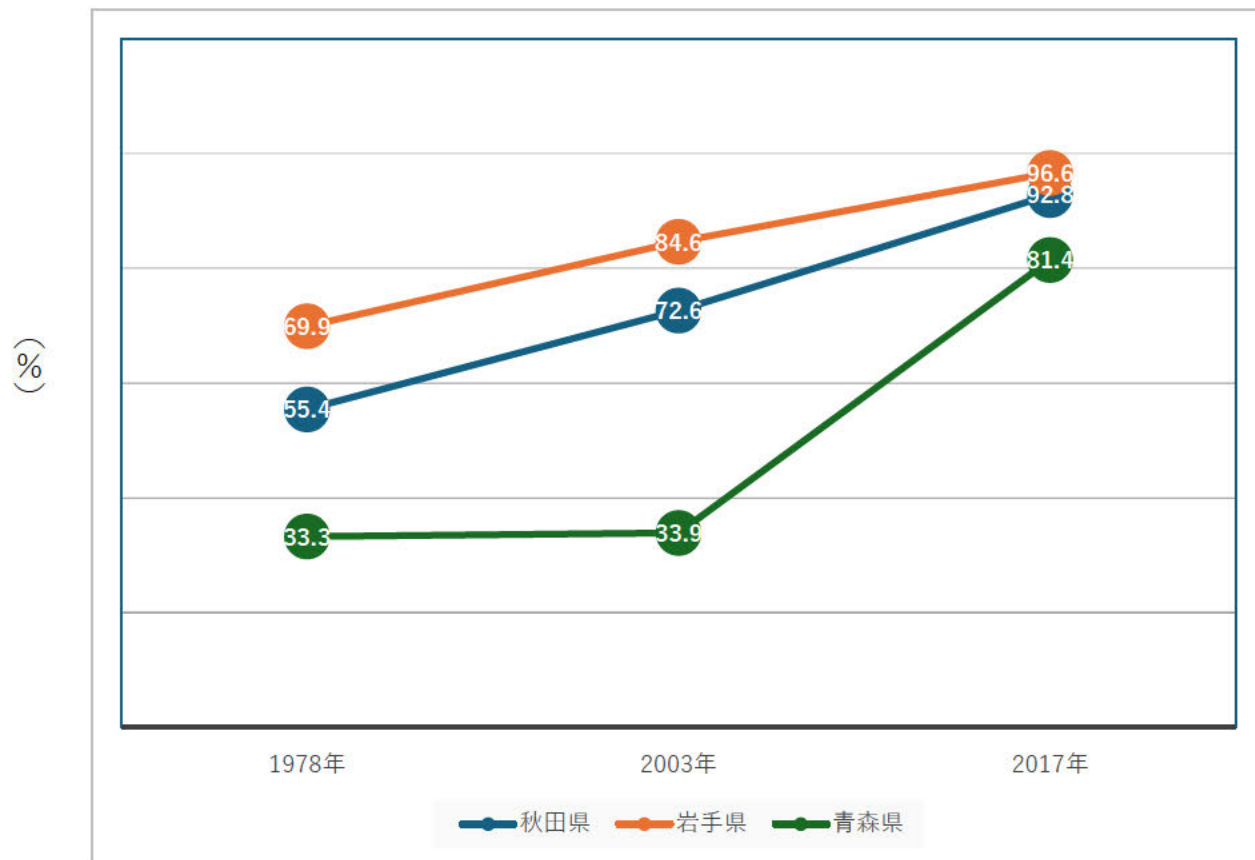


2003年

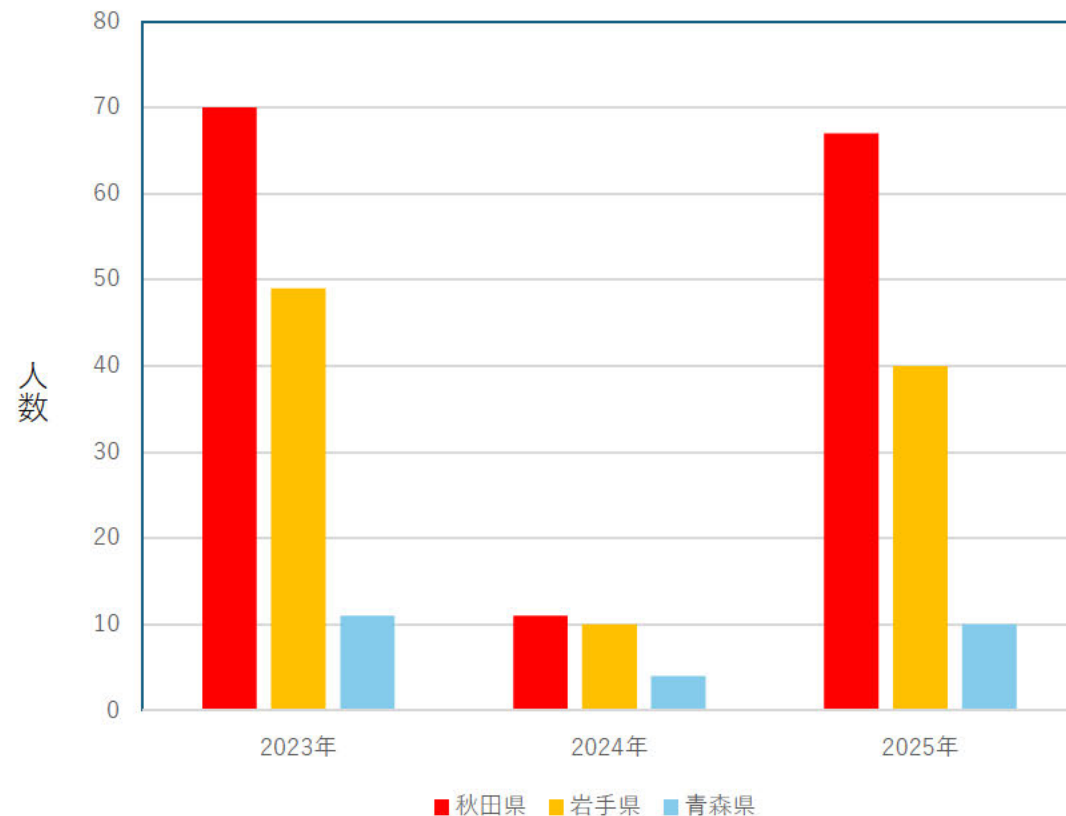


2017年

北東北3県のクマの分布率と人身事故数

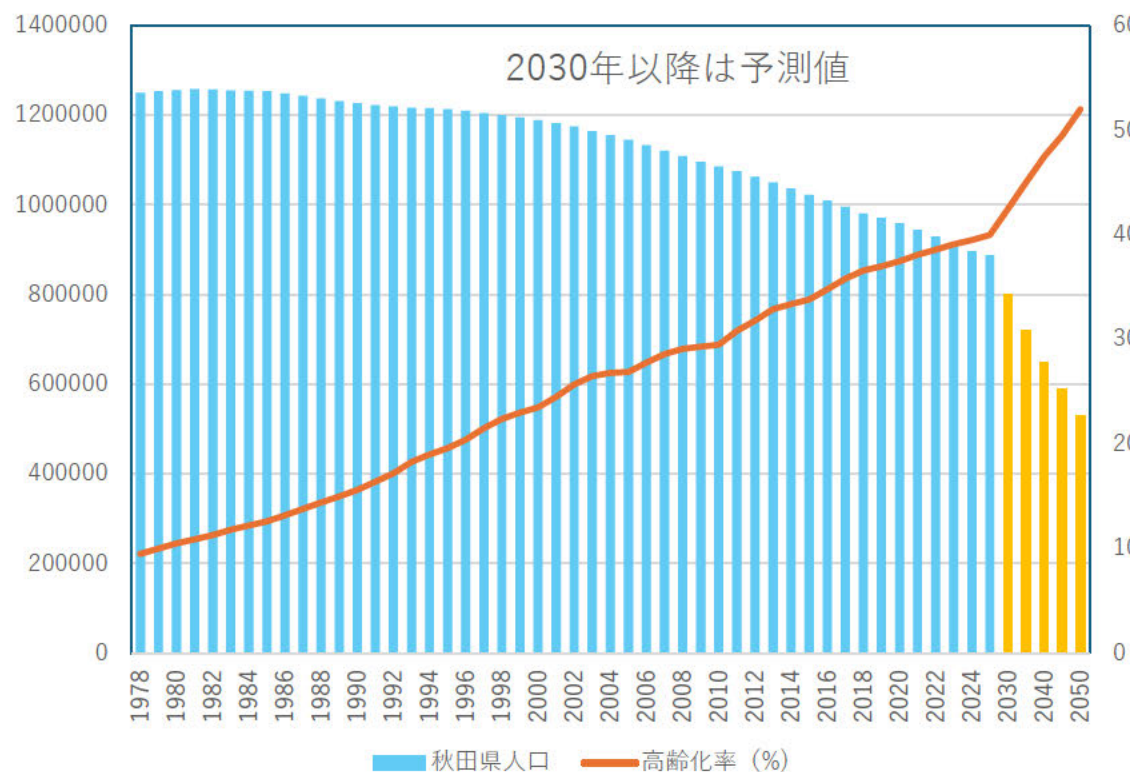


3県に占めるクマの生息メッシュの年次変化 (%)

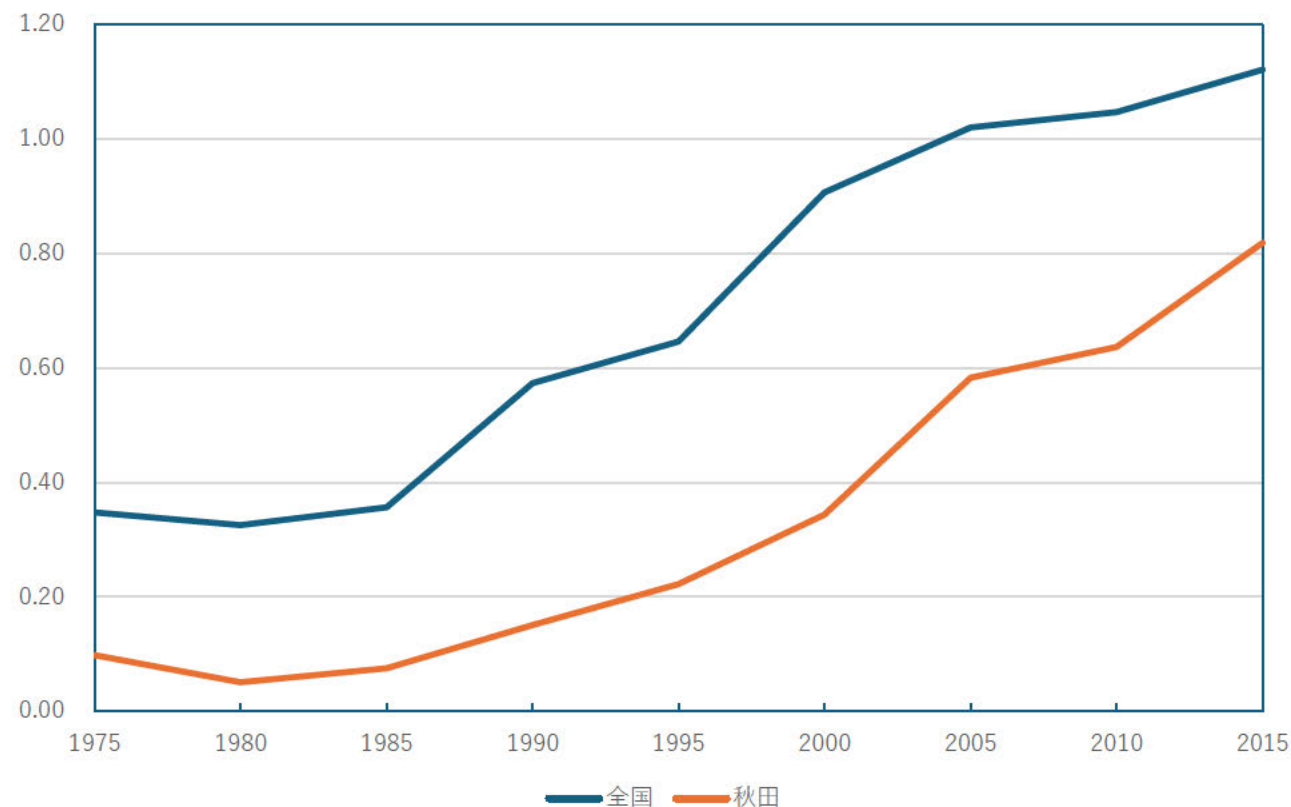


3県での過去3年間のクマによる人身事故人数

人の衰退とクマの躍進



秋田県の人口推移と高齢化率の推移（65歳以上）



耕作放棄地面積の増加（農林業センサス統計より）

※国および秋田県の総面積あたりの耕作放棄地の割合（％）